

第52回滋賀県公立小中学校事務研究大会オリエンテーション

全体会

事務職員から 広げる 繋がる 「チーム学校」

湖西ブロック実行委員会

県内の各地域において、共同学校事務室ほか、さまざまな形で事務の「共同」が進められてきています。

そんな学校事務職員の共同の場で、学校の課題に対する気づきを共有している場面も多いのではないのでしょうか。

令和3年12月に滋賀県でも職階に応じた人材育成指標が示され、それぞれの立場で学校運営への参画について意識するようになってきていることと思います。

私たち事務職員の共同を事務職員の中だけに留めておくのではなく、「チーム学校」の一員として、各学校で他の誰かと繋がり、広げていくことができれば、思うように進んでいかない教職員の働き方改革、さらには子どもたちにとってのより豊かな学びへと繋がっていくのではないのでしょうか。

今大会の全体会では3つの実践事例を通して、事務職員の「共同・協働」を学校運営への参画へと繋げていくための糸口を一緒に探っていきたいと思います。

第1分科会

共同学校事務室をアップデート

～チームりっとうの挑戦～

栗東市小中学校教育研究会事務部会

栗東市立小中学校共同学校事務室設置要綱が施行されてからはや2年。明確に業務としての位置づけがされましたが、従来の共同実施の取組から大きな変更がないまま現在に至っています。この現状を打開すべく、研究会と共同学校事務室が連携しながら研究、実践に取り組み、「チームりっとう」のアップデートを図ります。

働き方改革や休職者の増加、さらに生成AIの登場など、様々な現状や課題が浮き彫りになってきた今日。時代の急速な変化に対応しつつ、子どもたちのよりよい学びと育ちを軸にしながら研究を進めてきました。持続可能な共同学校事務室業務とは何なのか、今後の学校事務職員のめざす姿とは何なのか、参加者の皆様とともに探っていきます。

第2分科会

「課題解決を実現させるための手立てを考える」

～学校事務職員のスキルアップをめざして～

湖南省小中学校事務研究会

令和3年度に湖南省共同実施組織を再編し、「課題を見つけ解決に向けて何ができるかを考える」というテーマの元に課題解決部会が誕生しました。

この共同実施組織再編の経緯と、課題解決部会で取り組んできた内容について紹介します。

令和3年度に「滋賀県公立小・中・義務教育学校事務職員の職階に応じた人材育成指標」が策定されたことを受け、事務職員の研修機会が少ないことを再認識しました。そこで市教委主催の初任者研や中堅研修に事務職員も参加できるように働きかけ、事務職員目線で授業を観察できるように授業観察シートを作成しました。

この分科会では、事務職員の研修参加から学校運営参画や人材育成等について話し、子どもの豊かな育ちのために事務職員として何ができるかを一緒に考えたいと思います。